

主な 内容	2面	4月から特別支援教室「サポートルーム」が全ての小学校で始まります。
	3面	まちだの小中連携
	4面	町田市を舞台に、学生たちが活躍中

まちだの教育

2018年
3月21日

No.101



発行:町田市教育委員会 編集:学校教育部 教育総務課 ☎194-8520 町田市森野2-2-22 MACHIDA TEL 042・722・3111 ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp>

町田っ子の「学び」ここが変わります！

2017年3月に文部科学省は新しい学習指導要領を公示し、小学校では2020年度から、中学校では2021年度から新しい学習指導要領が全面実施となります。新しい学習指導要領では、子どもたちに生きて働く「知識・技能」を習得させ、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成し、「学びに向かう力と人間性」を養うことが求められています。新学習指導要領の実施に向けて、この4月から実施する町田市の小・中学校における取組をご紹介します。

問い合わせ
指導課
724・2867

「考え、議論する道徳」に変わります

「善悪の判断」「思いやり」等、答えが一つではない道徳的な課題について、一人一人の子どもが、自分ならどうするかじっくり向き合うとともに、様々な意見をクラスで議論し、視野を広げることができるような授業づくりを進めます。



ご家庭でも、授業で扱ったテーマについて子どもと話し合っていたくことで、学校と家庭がともに心の成長を見守っていただければと考えています。その際、「〇〇しなければならない」「〇〇すべきだ」などと決めつけるのではなく、子どもの考えや思いを聞いてください。

これまでの「道徳の時間」が小学校で2018年度から、中学校で2019年度から「特別の教科 道徳」として教科化されます。



いじめ問題や情報モラルなどの現代的な課題も取り上げられています。

小学校英語教育が充実します

小学校5・6年生で教科化されるなど英語教育が本格的に導入される2020年度に先駆け、町田市では2018年度から全小学校で英語教育を先行実施します。

①英語の授業時間が増えます

	2017年度	2018年度
1・2年生		年間6時間程度
3・4年生	年間15時間	年間35時間 ※週に1時間程度
5・6年生	年間35時間	年間70時間 ※週に2時間程度



3～6年生は週に1時間くらい授業が増えるけど、時間割はどうなるの？

②英語に自然に親しむ機会が増えます

外国人のALT (Assistant Language Teacher=外国語指導助手) が入る日数を約2倍に増やし、子どもたちが生きた英語を学び、英語に自然に親しむことができるようにします。

③楽しみながら英語を学びます

授業に絵本を取り入れたり、音声ペンを活用したりするなど、子どもたちの英語学習への興味を高め、「英語って楽しい!」「英語を使ってみよう」と感じる児童が増えるような授業づくりを進めます。



絵本を使った英語授業



音声ペンを本に当てると英語が聞こえるよ!

各学校では、子どもや地域の状況に応じて

- ・朝学習 (始業前の15分) の時間を活用
- ・土曜日授業を増やす
- ・夏休み期間を短くする
- ・2学期制にする

などの様々な工夫を行い、授業時間を確保していきます。



小学校英語教育の取組については、まちだの教育 No.100(2017年9月21日発行)で特集しています。

☆町田市ホームページでもご覧いただけます。

子育て・教育→教育委員会→教育委員会の方針・計画等→刊行物等→教育広報紙「まちだの教育」→まちだの教育2017年

ICT環境が充実します

町田市は今後、市内全ての市立小中学校へタブレット端末やプロジェクター等大型提示装置を配備し、これらのICT機器を活用した授業を実施していきます。

①学習への意欲、関心が高まります

ICT機器を活用して、拡大画像や動きのあるコンテンツを表示するなど視覚に訴える授業を行うことで、子どもたちの学習への集中力が向上します。

②考える力、判断する力、表現する力が高まります

自分の意見と他人の意見を画面上で比較、整理しながら議論を深めることで、子どもたちの思考力、判断力が向上します。また、友達の前で自分の考えを発表する機会が増えることで、子どもたちの表現力が向上します。

黒板に大きな画像が映し出されていて、授業が分かりやすいね!



特別支援教育の充実に向けて ～一人一人の個性を大切にするために～

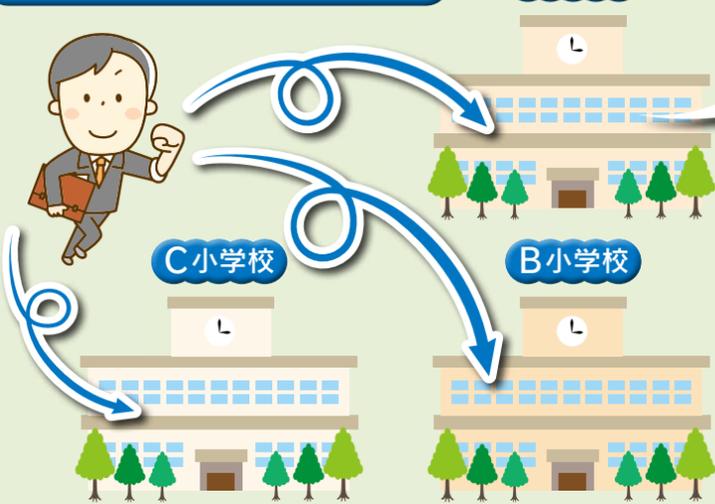
4月から特別支援教室「サポートルーム」が全ての小学校で始まります。

2018年4月から、全ての小学校に特別支援教室「サポートルーム」が設置されます。「サポートルーム」は、各小学校を巡回する担当の教員が、学習面や行動面などでつまずきのある児童に対し、一人一人のつまずきに応じた指導を行うための教室です。これまでは、自身のつまずきに応じた学習を行う児童は、特定の時間に専門の学級がある他の学校に通っていましたが、今後は児童は普段通っている学校の中にある「サポートルーム」で、自分に必要な学習をすることができます。

町田市教育委員会では、個性・能力・可能性が異なる子ども一人一人に対し、それぞれの教育的ニーズに応じた適切な支援を行い、その力を最大限に伸ばしていけるよう取り組んでいきます。

特別支援教室「サポートルーム」とは

教員が各小学校を巡回します



児童は特定の曜日・時間に、自校の「サポートルーム」で、自身のつまずきに応じた学習に取り組みます。

教員が各学校を巡回することで・・・

- ◆ 児童は他の学校へ通う必要がないため、保護者による送迎や在籍学級の授業を一日抜けるなどの通学に係る負担なしに、必要な学習を行うことができます。
- ◆ 「サポートルーム」の担当教員と、在籍校の学級担任が連携しやすくなり、学習内容や児童の様子を共有しながら指導を行うことができます。

サポートルームでは、このようなことで困っている児童を支援します

- 黒板を写すことや、漢字・平仮名を書くことが苦手
- 四則計算ができない、あるいはとても時間がかかる
- 整理・整頓が苦手(忘れ物やなくし物が多い)
- 結果を考えたり、予測したりせずに行動する
- 道具をうまく使えなかったり、不器用さが見られたりする
- 内容を分かりやすく話すことが難しい
- 手足を動かすなど、じっとしていられない(よい姿勢を維持できない)
- 一つの課題に集中できず、最後まで終わらせることができない
- 友達と仲良くしたい気持ちはあるけれど、友達関係をうまく築けない
- 話す必要があるときでも話せない

特別支援教室「サポートルーム」での学習内容

一人一人の状況に応じ、個別指導のみ週2時間、または個別指導と小集団指導の週1時間ずつの組み合わせによる学習を行います。

個別指導

一人一人のつまずきに応じた学習に取り組みます。文章の内容を理解するのが苦手な児童には読み取りの課題、目の動かし方に課題のある児童にはビジョントレーニングなど、児童の状況に合わせた課題を用意しています。きめ細やかな指導ができるよう、担当の教員と1対1または1対2で取り組みます。

線つなぎ
手本と同じ図を書いて、図形の辺や点の位置や関係をつかむ練習をします。



手本をよく見て……

気を付けて読んでいますね



文章の読み取り
文章問題を適切に読み取る練習を行います。

ビジョントレーニング
たくさんある中から特定の数字を探す訓練で、目の運動や反射、複数の物を見る力を伸ばします。



前回よりもはやく
なりましたね

小集団指導

対人関係や集団行動を上手に営むためのソーシャルスキルトレーニングやコミュニケーションの学習を行います。ルールのある活動や、児童同士で協力したり相談したりしながら取り組む課題を通して、気持ちや行動をコントロールすること、自分の考えを伝えたり相手の考えを受け入れたりすること、問題解決の方法やトラブルを回避する方法、段取りを考えたり計画を立てたりすることを学びます。



こんな時どうする？
学校生活で出会う困った場面について、対応方法や解決へのポイントを話し合います。

情報ゲーム
2人1組になり、自分の見ている図形の特徴を言葉だけで相手に伝えます。



友達のいろいろな考えが分かったね

ことばをきいて、同じ図形がかけられるかな



特別支援教室「サポートルーム」に関する質問や入級の希望がある方は、在籍校の先生にご相談ください。

特別支援教室「サポートルーム」の制度についての問い合わせ：教育センター

☎ 793・2481
FAX 791・0359

第9回中学生「東京駅伝」大会 総合第3位！

2月4日(日)、味の素スタジアム・都立武蔵野の森公園特設周回コースにて、第9回中学生「東京駅伝」大会が開催されました。本大会には、都内23区、26市、1町の50の自治体が参加し、各市区町において中学校2年生から選抜された選手で結成した駅伝チームが、優勝を競い合いました。

町田市の代表チーム「チーム町田」は、男子の部で第4位、女子の部で第3位と素晴らしい成績を取め、男女のタイムの合計で総合第3位に輝きました。



▲今年も大健闘のチーム町田(写真は結団式の様子)

つくし野中学校・つくし野小学校・小川小学校・鶴間小学校・南つくし野小学校 多面的な取組で進める小中連携

交流1 小中合同教員研修会

小中学校の教員がお互いの授業を参観し合ったり、情報交換を行っています。2017年度は、南つくし野小学校と小川小学校で「学力向上」「英語活動」「生活指導・学習規律」など



のテーマについて、意見交換を行いました。特に生活指導では、つくし野スタンダードを基準に、挨拶や言葉づかいなど、小中9年間を見通した指導の成果があらわれています。

交流2 つく中フェスタ



つくし野中学校PTAが中心となり、毎年10月にフェスタ（お祭り）を開催しています。ここでは、PTAや中学生に加え、地域の方々による舞台発表や出店があり大いに賑わいます。



毎年大変多くの小学生が来場し、地域の方々との交流もっています。また、部活動の体験会が開かれ、中学生が小学生に向けて優しく指導を行っています。

交流3 小学校連合運動会

小学校4校の6年生が学校対抗で50m走・リレー・長縄跳びを行っています。準備体操・整理体操では、中学校の体育の教員が全体指導にあたります。保護者の参観も多く、50m走・リレーでは、大きな声援で盛り上がります。



交流4 中学生による説明会と授業見学

小学校4校の6年生を中学校に招き、生徒会から、パワーポイントを交えて、学習・生活・行事などの説明を行う他、合唱祭で最高賞に輝いたクラスが合唱を披露します。また、中学生の授業を見学することで、中学校を知ってもらう機会となっています。

夏休みには、中学生が小学校に出向き、スポーツや学習など様々な体験活動を行っています。



9年間の育ち支える、学びつなげる まちだの **小中** 連携

市立小・中学校では、小中9年間を見通して、小・中学校の教育活動の連続性を確保し、学力の向上に向けた取組や心身の発達段階に応じたきめ細やかな指導を行うため、地区ごとに小中が連携した様々な取組を行っています。



小山中学校・小山小学校・小山中央小学校

小学校から中学校へスムーズに移行 ステップからスロープへ!!

◎3校教職員交流会

- ウォームアップ研修(中学校体育科教員+生徒による見本演技)
・中学生生徒(小学校卒業生)の見本演技・説明が好評です。
- 教員レクリエーション(バドミントン等)
・スポーツを通じ、先生同士の親睦を深めます。



準備運動は動的ストレッチで行います。



このポーズが、パワーポジションです。

◎サマースクール・きょうみらんど・補習教室のボランティア

- 小学校の夏休みサマースクール・きょうみらんど・補習教室講師ボランティアを中学校で募集し、児童の活動の補助をします。



ここを、こうやってつくるんだよ～！ へ～!!



セイ！ヤー！！

◎リトルティーチャー（都立入試日）

- 中学3年生が、小さい先生となって小学生と活動します。



ねえ、ねえ～おにいちゃんあそぼうよ～！ いいよ～!!



あのね～、ぼくね～、これ、わからないんだよ～!

◎生徒会による小山中説明会（小山小・小山中央小にて）

- 小山中生徒会役員が小学校に行って中学校生活について説明します!



小学生のみなさん！今日は私たちが企画して中学校紹介をしました！みなさんの入学をお待ちしています!



生涯学習センターが橋渡し 町田市を舞台に、学生たちが活躍中！

大学等の高等教育機関が多く集まる町田市には、大学等で学んだ成果をもとに地域を盛り上げている学生たちがたくさんいます。生涯学習センターは学習活動を通じた地域課題の解決のため、学生団体と地域との橋渡しを行っています。ここでは、学生団体が行政や地域団体と連携・協働しながら活躍する様子をご紹介します！

「まち」を企画・情報誌で盛り上げる学生団体 学生メンバーに聞きました！ 「さがまち学生 Club」の活動



生涯学習センターで、毎週、学生会議を行っています！

「さがまち学生 Club」は、町田・相模原地域の学生が、「学生の子カラで地域を盛り上げる」をコンセプトに、まちづくり活動を企画・実施する学生主導型プロジェクトです。地域情報誌の制作やPR活動、新規イベントの企画立案等…学生メンバーが町田・相模原地域を舞台に縦横無尽に活躍しています！



さがまち学生 Club
上村 まりさん
(相模女子大学 3年)

活動に参加したきっかけを教えてください。

大学に進学したら「何かしたい！」と感じていたのが、「やりたいことや好きなことが実現できる」という点に惹かれて1年生の時から参加しています。活動に参加してみたら、先輩方がはじめから「それいいね」と学年に関係なく意見を尊重し、認めてくれたのが嬉しかったです。それまで、人前が出るタイプではなかったのですが、自分自身が変わる転機になりました。

活動に参加して、成長したことや学んだことはありますか？

これまで、藤の台団地での団地活性化プロジェクトや町田市立小山中学校での特別授業など、子どもから高齢者まで幅広い年代の方々と関わり、活動を行ってきました。さまざまな価値観や考えに触れる中で視野が広がり、誰とでも壁を作らないコミュニケーションができるようになったと感じています。

今後の活動でどんなことに挑戦していきたいですか？

いただいたオファーに取り組むだけでなく、私たちが活動することで、学生や地域の方々などの意識や価値観が変わり、「まち」全体が変わるきっかけを作っていきたいと思っています。

「情報誌 Sagamachi」を発行しています！

さがまち学生 Club では、町田・相模原地域の魅力を大学生目線でお届けする地域情報誌「情報誌 Sagamachi」を発行しています。町田市各公共施設、大学などで配布しています。ぜひ、ご覧ください。



町田市×さがまち学生 Club 学生メンバーが紹介する！ 2017年度実施のプロジェクト！

生涯学習センターが橋渡し役となり、まちづくり活動に取り組む「さがまち学生 Club」と町田市各課がタッグを組み、コラボレーション企画が生まれました。その一部をご紹介します！

「町田市食育フェア」に参加しました！

～町田市保健所保健予防課とコラボレーション～
「食育」を題材にした子ども向けクイズとゲームを作り、ブースを出展しました。



増田 蒼生さん(左)
添田 保奈美さん(右)
(相模女子大学 2年)

大学の先生や町田市の管理栄養士の方々と話し合いながら、子どもや高齢者にもわかりやすく伝える工夫を行いました！
みなさんの笑顔が嬉しかったです。



イベント当日の様子

青少年施設ひなた村のPR動画を作成！

～町田市青少年施設ひなた村とコラボレーション～
小学生にインタビューを行い、「子どもの居場所」をテーマに、PR動画を制作しました。



柴田 弓子さん(左)
阿部 麻優さん(右)
(青山学院大学 3年)

インタビューを通して、ひなた村は子どもたちにとって「大好きな場所」であることを実感。たくさんの方に魅力を届けたいです！



動画撮影の様子

生涯学習センターでは、市民のみなさんの学習活動を支援するため、講座・イベント等の実施や施設の貸し出し、生涯学習情報の収集・発信、学習相談など生涯学習に関するさまざまな事業を行っています。

また、近隣大学等の学生団体と、町内会・自治会、NPO 団体、行政機関など地域で活動する団体との連携の支援を行い、学生と地域の新たな交流が図られています。「地域で活躍する学生たちと一緒に活動したい！」「学生とともに“まちだ”を盛り上げたい！」という方は、生涯学習センターにぜひご相談ください。



生涯学習センターキャラクター
マナブとマニヤミン

問い合わせ

●生涯学習センター (☎ 728・0071) ●さがまち学生 Club について…さがまちコンソーシアム (☎ 703・8535)



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

この広報紙は、123,500部作成し、1部あたりの単価は4円です。(職員人件費を含みます。)